

桜井昌司さん・杉山卓男さんを守る会

ふかわ

布川事件ニュース

第371号

〒113-0034

東京都文京区

湯島2-4-4

平和と労働センター

・全労連会館5F

☎03-5842-6464

布川事件再審裁判が判決むかえます

3月16日はみなさん土浦へ

「完全無罪を」の声を裁判所に寄せて下さい

最後の裁判所要請に

布川事件再審裁判の判決日まで3週間あまりとなり、守る会は2月16日、最後となる裁判所要請をおこないました。要請では、守る会中澤宏事務局長が、「完全無罪判決を求める要請

書」を読み上げ、多くの人の

支援を受けるこの事件に公

正な判決をと要請。皆さんからも警察・検察の不正を許さない「歴史に残る判決を」と、口々に要請しました。

守る会では、判決日に最終の署名提出をします。お手元にある署名用紙は至急

お送り下さい。

判決日（3月16日）の行動予定は、次のとおりです。

午前10時 土浦駅集合、

裁判所にむけ人権ウォーク

※傍聴整理券配付（午前10時40分まで）

午前11時05分 傍聴券当

選発表

午後1時 裁判所に入る

請求人、弁護士見送り

午後6時 記者会見（ホテルマロウド筑波）

午後7時30分 パーティ

（予定）

「雪冤手拭い」で迎えます

守る会は、判決日にむけて「雪冤手拭い」を作りました。絵手紙作家の田口孝夫さんのデザインによるこの手拭いを手に手に、無罪判決をうけた桜井さん、杉山さんを裁判所門前で迎え、ともに喜び合いたいと計画しました。ぜひ、ご協力をお願いします（手拭いは1本500円で販売する予定です）。



この日の要請には、東京・茨城・千葉から15人が参加。提出署名は1,200筆余り、合計21,439筆になりました。ご協力感謝します。（2月16日）

ドキュメンタリー・ムービー ショージとタカオ

キネマ旬報第84回ベストテン

文化映画部門の第1位を受賞

3月19日(土)から一般館でロードショー

「ショージとタカオ」ご覧いただきましたか。井手洋子さんが監督・撮影・編集したドキュメンタリー・ムービー「ショージとタカオ」がキネマ旬報ベストテンの文化映画部門で第1位を受賞しました。

桜井昌司さん、杉山卓男さんが29年間の獄中生活から仮釈放で社会に戻った1996年11月。それからの14年間を記録した映画です。すでに観た方から「勇気をももらった」などの感想をいただいています。

今回、新宿と横浜の映画館で、3月19日(土)からロードショーで上映されます。この機会にぜひ、ご覧ください。当日一般1,800円のところ1,200円の優待券を守る会事務局で扱っています。優待券と振替用紙を同封してお送りしますので、お申し込みください。

上映館は
新宿 K's cinema
(ケイズシネマ)
電話 03-3352-2471
(新宿駅東南口)
横浜ニューテアトル
電話 045-261-2995
(JR 関内駅北口)



追悼

清水誠先生 ありがとうございました

細矢 真澄



清水誠先生が急逝された。布川事件の初めての無罪判決を待たずに亡くなられた。無念の気持ち

ました。そのため、「布川事件の最高裁決定について」という詳細な論文を発表されました。

を抑えることができません。

原審最高裁上告中に先生は、小田中聡樹教授とともに法学者26名の連名で慎重審理を求める要望書を提出しました。最高裁が口頭弁論も開かず棄却決定を出したため、「布川事件の最

この論文に導かれて支援運動に加わってきた私にとって、まさに導きの星を失ったに等しい悲しみです。『捏罪』という先生の造語は、先生の温厚な言動とは裏腹に、布川事件がもつ司法の犯罪を厳しく、激しく問うものとして私を励ましてくれました。

第2次再審申し立てに当たって守る会が作ったパンフレットの中で先生は、『守る会』に集まった最初は一筋の小川のよう努力が、いまでは、広い国民の関心を集め、大河のような運動になってきた。二人の無実を知

らないのは裁判官だけという状態にまでぜひともこぎつきたいと思う。」と書いて下さいました。今まさにその状態になつてきたときに、その結果が白日の下にさらされようとしている時に、先生のお姿を見ることができないことは残念です。

昨年末に片付け物をしていた、救済美術展で北林谷栄さんを中に若くてお元氣な清水先生と一緒に写った写真を見つけた。今ではもう大切な、大切な1枚となっていました。(布川事件守る会元事務局 局長)

杉山卓男

仕事中の私の携帯電話が突然、けたたましい音をたてた。だれからの電話だろうと見ると、中沢さんからだった。「清水先生が亡くなられた」という知らせ。電話の中沢さんの声は悲痛な叫びに聞こえた。突然の

清水誠先生 判決を目前に亡くなられたこと ほんとうに残念です

桜井昌司

皆さんと喜び合う日が近付きましたが、先日は、清水先生がお亡くなりになる哀しみがありました。後少しで、先生とも無罪を喜び、どんな時間を過ご

悲報に接し、信じられなかった。しかし、最近具合が悪く、新年会にも弁護士団会議にも来られていなかったで、心配していた。

清水先生との思い出は沢山ある。初めてお名前を知ったのは、もう30年以上前のことだと記憶している。最高裁（確定審）で上告中の時に、全国の学者の先生方と呼ばひかけ、研究会なる組織を作り、沢山の署名を最高裁に提出していただいたこと、新聞に投書していただいたこと。長く代表世話人をお引き受けいただき、さらに教授の職を退いた後は、布川弁護団の一員としてお力添えいただいたこと等、感謝の気持ちでい

せるだろうかと楽しみにしていましたのに、もう出来ません。何度考えても残念でなりません。哀しくてなりません。

初めて清水先生にお会いしたのは千葉刑務所でした。東京高裁で裁判中にお力添えを頂くようになり、10数年が過ぎたころでした。弁護士要録をして布川事件弁護団に加わるという嬉しいお話で来て下さいました。

そのときの忘れられないエピソードは、立会人看守の言葉でした。

先生との面会が終わったとき、その看守が「素晴らしい人格者だなあ！」と感服したように言い、更に「あ

つばいである。

また、私的なことでは、私の女房と一緒に数回、八雲（目黒区）にあるご自宅にお伺いしたこと等を思い出す。先生のお孫さんの名前が「望（のぞみ）ちゃん」。家の望と同じ字だと言われたこと。でもお孫さんは、女の子なので、読み方が「のぞみ」と「のぞむ」で違うこと等、嬉しそうに話していたことを思い出す。

もう先生にはお会いできませんが天国で、私たちを見守って下さい。そして、一日も早く「無罪判決」を確定させて、ご報告出来ることを楽しみにしています。安らかにお眠りください。合掌。

んな人に支援されて、桜井は幸せだな」と言葉を継ぎました。その看守は、何時も面会に来て下さる人を皮肉に批評する人でしたが、会った人、総てに伝わる先生の深い知識と人間性が滲め出た人格を、その人にも判ったのだと、凄く嬉しかったのでした。そして再審の闘いの行方に安心を得たような喜びを感じたのでした。

社会に帰り、直接に先生と触れ合うようになりまして、その初めてのお会いしたときの印象と思いは変わりませんでした。何時も穏やかで温厚で、私たちの闘いを支え、守って下さいました。

勝利の年明けを祝う

1月15日 新宿農協会館に80人が参加



1月15日、「布川事件守る会2011新春のつどい」を東京・新宿農協会館

で開催、80人を超す参加者で会場がいっぱいになりました。(写真上)

「あと2カ月、大勝利を確信しています」との松島洋代表世話人のあいさつで始まった「つどい第1部」、杉山卓男さんは、「正月のほほんと過ごしたが、きょう改めて最終弁論当日の二

◇布川事件茨城の会

完全無罪、控訴許さぬ闘いを

2月5〜6日 合同新年会筑波山で開催

ユースを見て、怒りが湧いてきた」と話し、桜井昌司さんは、「勝ったその日から、えん罪をなくすための闘いが始まると考えている」と力強いあいさつ。弁護団からは柴田五郎団長はじめ7人が参加、代表して松江頼篤弁護士から6回にわたってひらかれた再審裁判の経過が報告されました。「第2部」に移ってからは、参加されたみなさんの勝利を確信した喜びの声で、大いに盛り上がった「新春のつどい」でした。

読売新聞社説を書かれた、元記者の前沢さんが出席されて、「検察は控訴しない。控訴したら検察は崩壊します。ジャーナリストとしての私の感想です」と、述べていたのが印象的でした。新年会の2日目はまじめに学習。弁護団が記者会見し公表した「冤罪を招いた警察・検察の違法行為」と題した資料をもとに、谷萩弁護士から説明を聞き、当面、3月16日の判決日と控訴させないための行動などを話し合い、充実した今年の「新年会」でした。

〈活動日誌〉

12月

- 4 救援会杉並支部大会 桜井
- 4 救援会中野支部大会 桜井
- 5 利根町宣伝(布佐・松島洋事務所)
- 6 国際人権アワー・各省市入れと宣伝行動
- 9 東葛総合法律事務所友の会忘年会(柏ホテルクレスト) 桜井
- 10 布川事件再審第6回公判(水戸地裁土浦支部) 桜井、杉山
- 11 救援会群馬県本部大会 桜井
- 14 11・20集会実行委員会
- 16 有楽町マリオン前宣伝 桜井、杉山
- 20 18 救援会成田支部大会 桜井
- 20 18 台東協同法律事務所忘年会 桜井、杉山
- 22 布川事件弁護団会議(日弁連) 桜井、杉山
- 24 布川事件ニュース369号発送作業(平和と労働センター) 2011年1月
- 7 布川事件守る会第9回事務局会議(平和と労働センター) 桜井、杉山
- 8 無美のゴピンダさんを支援する会新年会 杉山



布川事件茨城の会が開く「合同新年会」、今年は2月

先生のお宅にお邪魔して将棋を指したこともありました。無罪が確定したらば、まだ先生と一緒にやりたいこともありましたが、もう出来ませんが、先生から頂きましたお力添えの恩は忘れないつもりです。先生が法律を通して社会に求められたことは判りませんが、私は無罪判決後、私たちが犯人に作った警察と検察の罪を問い、闘います。そして、先生から頂きましたご恩を、私の生涯を掛けた闘いで、少しでもお返ししたいと思っています。

先生、有難うございました。皆さん、清水先生の分も加えて、私たちの無罪を喜んで下さい。